

県立中央病院



所在地

新潟県上越市新南町205

TEL

025-522-7711 (代表)

ホームページ

<http://www.cent-hosp.pref.niigata.jp/>

標榜診療科目

内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、精神科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、形成外科、病理診断科、救急科、臨床検査科

病床数

530床 (一般524床、感染症6床)

医師数

常勤：109人 非常勤：1.4人 研修医：15人 (2021年4月1日現在)

患者数

入院 (R2年度)	年間延べ患者数	141,996人	1日平均患者数	389人
外来 (R2年度)	年間延べ患者数	248,492人	1日平均患者数	1,023人

病院の特徴等

新潟県上越地方最大の基幹病院で、救命医療、がん医療、脳血管障害、周産期・新生児医療、人工透析などの地域最終医療センターの役割を果たしています。特殊施設として、救命救急センター (ICU 8床・CCU 4床)、NICU (6床)、無菌治療室 (2床)、人工透析室 (40床) を持ち、CT、MRI、ガンマカメラ、PET-CT、リニアック、体外衝撃波結石破碎装置などの高度医療機器を備えています。また、内科学会、外科学会など18件の学会指定の教育病院となっています。



アピールポイント

- ・高度先進医療への対応
 - ・がん医療～無菌室の設置、定位放射線治療装置、外来化学療法室の設置
 - ・新生児医療～NICUの設置
 - ・手術部門～無菌手術室を含む9室の手術室
- ・救命救急センターの設置
 - ・1次から3次救急
 - ・災害拠点病院としてDMATも活躍
- ・機能的な部門間の連絡体制
 - ・電子カルテシステム整備
 - ・患者サポートセンター設置



施設等の紹介

- ・公舎提供あり (民間アパート・マンション)
- ・食堂・売店あり (弁当宅配利用可)
- ・図書室 (24時間開放、国内図書 約4,000冊、国外図書 約1,000冊、国内雑誌 約100種類、国外雑誌53種類、Up To Date、文献データベース、教育用コンテンツ)
- ・院内保育所あり



内科専門研修プログラム

■ 研修概要

本プログラムは、新潟県上越医療圏の中心的な急性期病院である新潟県立中央病院を基幹施設として、新潟県上越医療圏・近隣医療圏にある連携施設での内科専門研修を経て新潟県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、基本的臨床能力獲得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医として新潟県全域を支える内科専門医の育成を行います。

研修期間は基幹施設2年間+連携施設1年間の3年間になります。

■ アピールポイント

- 上越地域の基幹病院での急性期症例を中心とした内科研修
- 高齢化社会を反映した内科各分野の幅広い研修と専門研修
- 地域連携病院での慢性期疾患の管理と病病連携

■ 特色

本プログラムは、新潟県上越医療圏の中心的な急性期病院である新潟県立中央病院を基幹施設として、新潟県上越医療圏にある連携施設（厚生連上越総合病院、県立柿崎病院）および新潟県新潟市にある新潟大学医歯学総合病院とで内科専門研修を経て超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練されます。

指導医からのメッセージ

新潟県立中央病院は内科各分野および救急医療の専門医が内科全般を幅広く実践的に研修指導します。また内科全体での検討会を週1回開催し、診断困難症例、難治症例などに対して各分野の専門医が意見を出し合いながら、症例検討を行っています。

■ 連携施設の病院名

厚生連上越総合病院 新潟県立柿崎病院 新潟大学医歯学総合病院

研修期間 3年

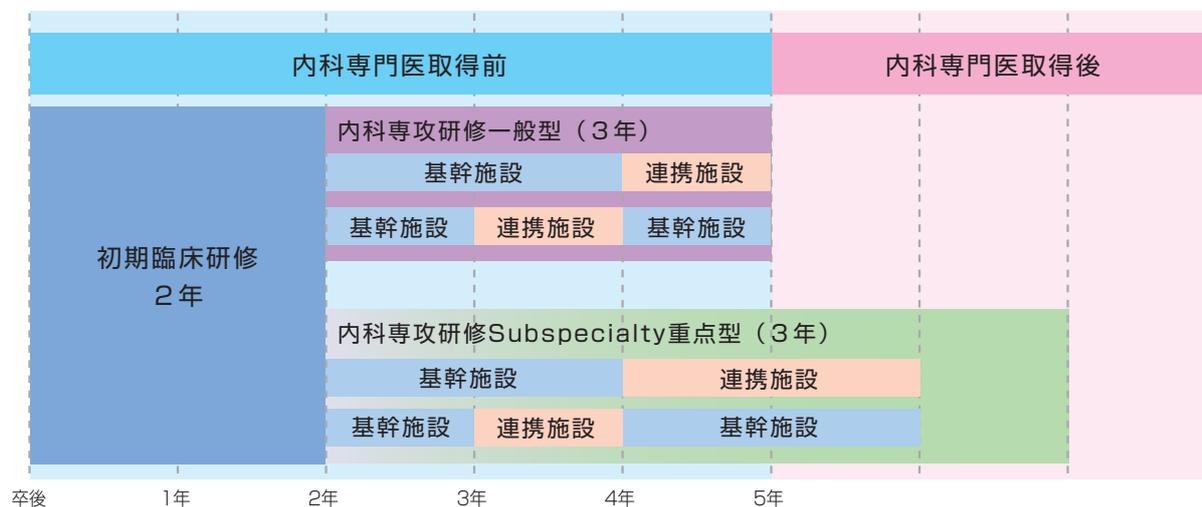
2022年度募集人数 5名

選考方法 書類・面接

プログラム責任者 内科 副院長 永井 孝一

■ 研修コース

①基本コース



②週間スケジュールの例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	内科各科 朝カンファレンス（Subspecialty）						担当患者の病態に応じた診療/オンコール/日当直/講習会/学会参加など
	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療	入院患者診療		
	内科外来診療（総合/新患）	内科検査（各診療科 Subspecialty）	内科外来診療（各診療科 Subspecialty）	内科検査（各診療科 Subspecialty）	内科検査（各診療科 Subspecialty）		
午後	入院患者診療	内科検査（各診療科 Subspecialty）	内科検査（各診療科 Subspecialty）	入院患者診療	救命救急センターオンコール		
			内科総合検討会	CPC/講習会	講習会/研究会/講演会		
	担当患者の病態に応じた診療/オンコール/当直など						

■ その他参考情報

新潟県立中央病院内科専門研修プログラムのほかに、新潟大学が実施しているオール新潟内科専門研修プログラムにも参加しています。現在新潟大学から内科専門医研修目的で9名の内科医師が研修中です。

問い合わせ先

担当者 庶務課 白石 優一

TEL 025-522-7711

FAX 025-521-3720

E-mail shomu@cent-hosp.pref.niigata.jp

ホームページ http://www.cent-hosp.pref.niigata.jp/chuumoku/senkoui_boshu.html

麻酔科専門研修プログラム

■ 研修概要

本研修プログラムでは、専門研修基幹施設である新潟県立中央病院を核としながら、専門研修連携施設A（新潟大学医歯学総合病院、新潟県立新発田病院、新潟県立がんセンター新潟病院、新潟市民病院、済生会新潟病院、長岡中央総合病院）、および専門研修連携施設B（長岡赤十字病院、魚沼基幹病院）において、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供するとともに、下記①～⑤を併せ持つ麻酔科専門医の育成を目指します。

- ①高度な知識・優れた技術・優れた態度を備えている。
- ②習得した知識・技術を全身管理に活用できる。
- ③さまざまな疼痛を緩和できる。
- ④常にリサーチマインドを持ち、臨床上の疑問に対して自己学習ができる。
- ⑤自律的に学術的活動（学会参加、論文執筆等）ができる。

■ アピールポイント

- 症例数が非常に豊富なプログラムであるため、専攻医全員が偏りのない麻酔管理を経験することができる
- 超音波ガイド下神経ブロックおよび中心静脈穿刺、経食道心エコー（成人）に関し、優れた指導医が在籍している
- 臨床麻酔を背景にもった基礎研究に早期から触れ、それらの基本的な知識について学習・指導を受ける機会も選択可能

■ 特色

新潟県立中央病院は新潟県上越地区の三次救急病院です。高齢者の大腿骨近位部骨折から新生児の麻酔まで、豊富な症例で偏りのない研修を行うことができます。

指導医からのメッセージ

当プログラムでは、豊富な症例から様々な研修が可能です。専攻医をお待ちしています。

■ 連携施設の病院名

〈専門研修連携施設A〉

新潟大学医歯学総合病院 新潟県立新発田病院 新潟県立がんセンター新潟病院 新潟市民病院 済生会新潟病院 長岡赤十字病院

〈専門研修連携施設B〉

長岡中央総合病院 魚沼基幹病院

研修期間 4年

2022年度募集人数 1名

選考方法 面接

プログラム責任者 麻酔科 渡邊 逸平

■ 研修コース

①基本コース

	A (標準)	B (ペイン)	C (集中治療)
初年度 前期	新潟県立中央病院	新潟県立中央病院	新潟県立中央病院
初年度 後期	新潟県立中央病院	新潟県立中央病院	新潟県立中央病院
2年度 前期	新潟県立中央病院	新潟大学 (ペイン含む)	新潟県立中央病院
2年度 後期	新潟県立中央病院	新潟大学 (ペイン・緩和)	新潟県立中央病院
3年度 前期	新潟大学 (ペイン含む)	新発田病院 (ペイン含む)	新潟大学
3年度 後期	新潟大学	新発田病院 (ペイン含む)	新潟大学
4年度 前期	魚沼基幹病院	新潟県立中央病院 (ペイン重点)	新潟大学 (集中治療)
4年度 後期	魚沼基幹病院	新潟県立中央病院 (ペイン含む)	新潟大学 (集中治療)

②週間スケジュールの例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み
午後	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み
当直	拘束番		拘束番			拘束番	

問い合わせ先

担当者 庶務課 白石 優一

TEL 025-522-7711

FAX 025-521-3720

E-mail shomu@cent-hosp.pref.niigata.jp

ホームページ http://www.cent-hosp.pref.niigata.jp/chuumoku/masuika_program.html

総合診療専門研修プログラム

■ 研修概要

本プログラムは新潟県上越地方を中心として、継続的にその地域に関わり、県立病院群を中心とした医療連携などを通し、地域の実情を理解し、地域のニーズに即した医療を構築・実践できる医師を養成します。ここで養われる力は、場所や状況が変わっても同じように発揮できるものです。また、小規模・地域医療病院から広域基幹・地域医療支援病院、外来から入院まで、幅広い診療の場で、大部分の健康問題に対応する実践的な診療能力を身につけます。人間中心の医療・ケア、包括的統合アプローチ、連携重視のマネジメント、地域志向アプローチなど、総合診療医・家庭医として重要な能力とともに、医師としてのプロフェッショナリズムや人間性を重視し、継続的に養います。

■ アピールポイント

- 各診療科、病院間の垣根が低く、コンサルテーションしやすい環境です。
- 新潟県立中央病院は上越地方の基幹病院であり、多種多様な疾患を診療できます。
- 研修内容は、希望に応じて柔軟に対応可能です。

■ 特色

新潟県立中央病院は上越地方の平野部に位置する救急救命センターとNICUを併設した530床の広域基幹・地域医療支援病院で、高度医療や災害医療を行うとともに、周辺地域の二次医療の中心を担っています。新潟県立柿崎病院、新潟県立妙高病院、新潟県立松代病院の3病院は高齢化・過疎化が進んだ上越地方の海岸部、豪雪山間部に位置する地域医療病院です。高齢化率30～40%台のへき地を抱え、地域に特徴的な医療を展開しその中核を担っています。これら4つの県立病院群を中心に、他の病院、診療所・開業医と連携し、上越地方全体の地域医療を構築しています。また、上越圏域外の病院も研修病院に含み、新潟県の医療を広く見据える研修も可能となっています。

指導医からのメッセージ

上越は新潟県の南西に位置し、北陸新幹線などにより三大都市圏との交通ネットワークが整った地方です。四季の変化、美しい景観や多様な自然に恵まれ、とてもいいところです。生活も楽しみながら、私たちと一緒に働いてみませんか。

■ 連携施設の病院名

県立柿崎病院 県立妙高病院 県立松代病院 県立津川病院 県立十日町病院 厚生連佐渡総合病院 県立新発田病院 県立がんセンター新潟病院 県立精神医療センター 厚生連糸魚川総合病院 佐渡市立両津病院

研修期間 3年

2022年度募集人数 1-2名

選考方法 書類・面接

プログラム責任者 内科 古川 俊貴

■ 研修コース

①基本コース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	新潟県立中央病院・十日町病院・柿崎病院・佐渡総合病院のいずれか										
	領域	内科										
2年目	施設名	新潟県立中央病院・十日町病院（小児科、総診Ⅱ）のいずれか										
	領域	小児科	救急				総合診療Ⅱ					
3年目	施設名	新潟県立柿崎病院・妙高病院・松代病院・津川病院・佐渡市立両津病院のいずれか										
	領域	総合診療Ⅰ										

希望や事情により、プログラムに準ずる範囲でローテーションは変更・休止可能です。

研修先は、随時更新しています。詳細はお問い合わせ下さい。

②週間スケジュールの例

総診Ⅱの一例

希望に応じて、柔軟に調整可能です。

	月	火	水	木	金	土・日
8:30-9:00	毎朝カンファで症例検討					適宜拘束番、 月0-1回程度 日直
9:00-12:00	外来	上部消化管 内視鏡	病棟	外来	腹部工コー	
12:45-17:15	病棟	他科入院症例 の往診	自由研修	病棟	検討会/抄読会	
夜	適宜拘束番、月1-2回程度当直					

■ その他参考情報

令和2年度に1名修了しました。

問い合わせ先

担当者 庶務課 白石 優一

TEL 025-522-7711

FAX 025-521-3720

E-mail shomu@cent-hosp.pref.niigata.jp

ホームページ http://www.cent-hosp.pref.niigata.jp/chuumoku/senkoui_boshu.html